

意見交換会のまとめ

意見交換 テーマ1

現状の公共施設等のサービス状況について、ご意見をください。

1	全般的に施設が古く使い勝手が良くない。ハードソフト両面での改善を望みます。
2	バリアフリーの充実を。
3	近隣センターの稼働率は地域差が大きいと思う。 エレベーター等の設置については、財政面の問題も含めて総合的な判断が必要となる。
4	年齢構成の高齢化により、近隣センター（2階建）がエレベーターが無い為、不便になりつつある。高齢化による改善することが必要な施設が多くなることも考慮すべきと思います。
5	図書館がインターネットから利用出来て便利である。
6	体育祭やグランドゴルフ大会で利用しているために学校の校庭は広い方がよい。
7	地域住民のふるさと感の増加で役立っている。
8	施設の内容の充実をさらに希望するが、それより存続することが第一である。
9	災害時の倉庫等周辺町会、ふる協との情報交換の場を多く設置すべき。
10	近隣センターは町会の集会所が無い場合利用できて便利である。
11	市民プールは利用者が少ないと思われるので、学校プールを閉鎖して代用すればよいのではないか。
12	体育祭やグランドゴルフ大会で利用しているために学校の校庭は広い方がよい。
13	ひまわりプラザで音楽活動をしています。駐車が広いので助かっています。反面、そのために広い範囲から多くの団体が利用申し込みをする為に、なかなか希望の場所、日時が予約できません。
14	吹奏楽レベルの音が出せる部屋がもっとあるといいと思います。同様の利用で、ほとんどの近隣センターは大きな音を出す音楽サークルは使用できません。多少でも防音対策が施された部屋が増えればよいと思います。
15	バリアフリー設備が不足している。
16	対応もよく使用しやすい。
17	近隣センターのトイレがきれいになった。
18	バリアフリー化の徹底（諸施設）
19	バリアフリー化。
20	エレベータ設置してほしい。
21	雨漏りの防止、屋根の改良をしてほしい。
22	利用していない施設を修理し市民に利用してもらおう。

23	布施K・C（布施近隣センター）を良く使っている。駐車場が狭い。
24	老朽化が進み、全般にくらい環境の改善が望まれます。現状以上を求めるべきではない。
25	近隣センター利用時間が3時間（1コマ）というのは、少し長い。（1コマの）時間を短めに多くのサークルが使用できるとよい。
26	廃止、統合だけでなく、施設の転用も検討頂きたいと存じます。
27	近隣センターの使用時間を、1コマ3時間単位より昔の2時間単位にして多くのサークルや会合に使用出来たらと思います。
28	近隣センターの図書館が便利である。
29	学校施設を借用してた世代交流活動（増尾西小）を行っているが、高齢者に配慮した備品も必要。
30	学校についても、もっと教育委員会とすり合わせして方向性を決めるべき。（子育て、居場所づくり）
31	駅から遠い。狭い。
32	近隣センター・文化会館などにエレベータを設置して欲しい（高齢化社会となった今、非常に不便です）。
33	近隣センターの多目的室は、地域の集会等で使いやすい広さである。（100人規模）又、高柳近隣センターは駐車場も広く使いやすい。
34	保育園の民間活用化促進。
35	大型車に対応した道路整備が必要。
36	地区に会館があるので近隣センターを使用するより、近くにあるので区の会館を使用する。経費は区でもっているの、近隣センターより安い。まつり等地区の行事には近隣センター等を使用する。
37	リフレッシュプラザのプールを利用しているが、大変好評である。この様な施設を大事にして欲しい。
38	高齢者の利便性に配慮してほしい。
39	手賀地区の公共施設が少ない。特に図書館、医療施設が少ない。（手賀地区木暮院のみ）
40	新富近隣センターは2Fがメインの活動スペース。エレベータが無く、2Fに行けない人が増えている。障害者差別解消法に合致する施策とし急いで欲しい。
41	近隣センターの駐車場不足。
42	同様の施設が密になっているところがある一方、全然無い地域がある。
43	近隣センターにエレベータ設置を。
44	市役所駐車場の有料化の見直しを。
45	近隣センターにエレベーターをつけてほしい。
46	児童館が少ない。

47	不要な施設はないと思う。
48	風早南部ふる協の施設として良い面ばかり思い出します。とても使い安くて感謝しております。
49	医療施設、特に大規模災害発生時の緊急施設が沿南地域、特に風早北部地域では不足しているとの認識です。柏市として「トリアージ（ポイント）」の設置を含めてこの問題に取り組んで頂きますようお願いいたします。
50	要望として、光が丘近隣センター内にエレベータを設置して下さい。当センターは2階に会議室等があり、市内の近隣センターの中でも稼働率トップクラスで、ふる協・社協等の行事参加者から強い要望が出されております。また、子育てサロン参加者のお母さん方が乳母車を持って2階に上がっている状況です。多数が一度に乘れるものでなくとも、乳母車や車椅子等が乗れる程度で結構です。御検討よろしくお願ひ申し上げます。
51	ふる協活動として、三小・豊小のグラウンドや子供ルームを利用した活動をさせて頂いてますのは有難い。
52	施設とソフト（の）両面（施設を活用する市民あるいは団体の運用務含めてです）から検討することも必要ではないでしょうか。
53	大変ですが、広く意見を聞き、議会等でも十分検討して下さい。
54	行政組織内部における横の関係を強化・拡大すべき。
55	この会の意見が「市民の意見を聞きました」という材料にだけ使われないことを望む。若い人達の意見を聞く機会を！
56	時間的な制約があり、十分な質問等ができなかった。 今後の検討に当たっては、極力市民の意見を聞く機会を作って頂きたいと思います。 ありがとうございました。
57	本日のデータで788,000㎡延床面積とあるが（良くみないとわからない）、運動場、駐車場が入っていない事を本日のような会議では言ってほしい。
58	手賀地区コミュニティセンター付近の歩道の整備をお願いしたい。（手賀中の自転車通学者、大変危険）
59	学校の老朽化がひどいので、お金をかけてでも計画的な改修が必要。
60	近隣センターがバリアフリー化されていないので、2階に上がれない。一部の部屋については、段差もある。
61	学校を複合化しても、バリアフリーの問題が解決されないと意味が無い。
62	人口増にあわせて整備した学校の通学区を見直すべき。
63	使われていない原因は、使いにくいからではないか。
64	学校施設へのエアコン整備。
65	お金がないから施設を減らすではなく、市としてどういう街を目指すのかを加味しなければならない。
66	近隣センターに防音の音楽室の設置を。
67	エレベーターがないなど、近隣センターは機能的には時代遅れとなっている。
68	近隣センターについては、駐車場が少ないセンターが相対的に利用が少なくなっているのでは。
69	施設の統廃合を考える時には、コミュニティエリアも同時に考えなければならない。

70	人口の増減など地域によってニーズや悩みが異なるので、データから分析するだけでなく、地域に耳を傾けることが重要である。
71	立派なふるさと会館を持っていると、近隣センターよりもそこでサークル活動を行う場合が多いので、地元で運営をまかせてはどうか。
72	消費生活センターは利用者にとっては駅の近くにあるほうがよい。
73	沼南庁舎、地域医療センター、その他庁舎がばらばらに配置されていて使いにくい。
74	中央公民館の講堂の椅子が汚くて、使いにくい。維持管理がされていない。
75	パレット柏の配置を考える際、他の施設との関連性を整理して検討しているのか。
76	庁舎の名称に一貫性が無くわかりにくい。
77	沼南庁舎はスペースにゆとりがあるので、さらに活用をはかるべき。
78	パレット柏について知らない人が多い、周知が必要。
79	高齢者は階段を上がることができない。バリアフリー化等の必要な投資はしてほしい。
80	障害者関連の手続きについてがいろいろな施設（庁舎等）に担当課が配置されているので、ワンストップサービスができるようにしてほしい。
81	市の歳出の削減に向けての努力がみえない。
82	江戸川区や流山市はまちづくりのイメージとセットで公共施設を考えている。柏市のまちづくりのイメージをもって魅力あるまちにしてほしい。
83	図書館分館に古い本、まったく使われていない本などがある。市民のニーズが把握できていないものとする。ハード面だけでなく、ソフト面からも考えてほしい。
84	昭和54年に決めた20のコミュニティエリアで（公共施設の配置を）考えるのには問題がある。40年を見据えた計画を立てる今だからこそ、人口が増える地域、減る地域を明確にし、コミュニティエリアの見直しを図るべき。
85	施設の用途別に目標値を定めるべき。全体で何パーセントはナンセンス。たとえば、年間利用ができず、水の入替に多大なコストがかかるプールなどは、削減対象としてもよいのでは。
86	近隣センターのトイレがきれいになった。トイレだけでもだいぶイメージが違う。
87	和式のトイレは時代遅れ。
88	学校の統廃合を考えると、災害時の避難所という位置づけを考慮すべきである。
89	図書館分館について、蔵書が少ないので、図書館としての役割よりも人の居場所としての役割になっている。役割を見直すことで、人件費などの運営費を減らすことができるのではないか。
90	ハード面からの要求だけでなく、社会的要求の変化もとらえていくべきではないか。
91	建築当時から修繕・建替を計画的に行っていれば、今回のような問題は起こらなかったのではないか。
92	お金の面も大事であるが、コミュニティを考えることも大事なのではないか。
93	空き教室の利用、統廃合など、学校の有効活用を図るべき。実際に、小学校が保育所、中学校が老人福祉センターに転用された事例もある。少子高齢化にあわせた使い方を考えていくべき。

94	用途から考えて、増やさなくてはいけない施設もあると思う。
95	小学校の統廃合を行うと、学区が変わり、防犯上の問題も発生する。
96	この街で子供を生みたい、育てたいと思える魅力ある施設が少ない。
97	お年寄りが放課後の子どもたちを見る多世代交流の事業を行っているが、近隣センターは使いにくく、児童センターもないため、小学校の空きスペースを利用して行っている。施設の配置も地域によって偏りがあるのではないか。
98	将来的に新しい施設を作るのであれば、長期的な視点で考えてもらいたい。
99	豊四季については公共施設等は少ないと感じている。
100	南部クリーンセンター周辺は、公共施設等の空白地帯。
101	都内から移住した人は、柏市の公共施設は不足していると感じる。
102	北部と中央については整備にお金をかけているが、南部はお金をかけていない。公平性をもって整備してもらいたい。
103	町会活動ではあまり公共施設を使わない。
104	近隣センターとふるさと会館の機能が重複している。
105	近隣センターは、予約が空いていなければいつでも使えるわけではない。
106	近隣センターは遠いこともあり使いにくいので、ふるさと会館も公共施設として扱っていくべき。
107	舗装をし直した道路を、埋設インフラを改修するために掘り起こした。もっと事前の協議を行うべき。
108	沼南近隣センターが、9:00から21:00まで開館していることで、仕事帰りに利用することができありがたい。
109	一部の人のニーズで公共施設ができてしまうと、将来問題が生じるのではないか。一部の人に特化したものではなく、多世代が利用でき、将来柔軟に転用できる施設にするのがよい。
110	公共施設の配置を考える際は、県立施設との連携も考えるべきではないか。
111	建物の面積の表現について、延べ床面積であることを説明し、学校のグラウンドや施設の駐車場などが入っていないことを説明すべきではないか。
112	私立を含め、教育施設を充実させていくことも、子育て世代の人口増につながるのではないか。
113	光が丘近隣センターにEVを設置してもらいたい。
114	児童館が不足している。
115	柏市には不要な施設は少ない。
116	ある町会でアンケートを行ったところ、よく利用する公共施設は、①ふるさと会館、②リフレッシュプラザ、③近隣センターであった。
117	もっと地域に入って説明会を行うべき。

118	社会福祉協議会からの補助で、サロンを実施している。
119	旧沼南町の方のみの意見なので、公共施設を使わない等の意見については、柏市の方の意見と合致するかどうかは疑問。
120	市民サービスを継続してほしい。
121	市営住宅など、住宅不足の時代に生まれたものかと思う。国全体の空室率が問題化している昨今、市営住宅は順次廃止すべきと思う。
122	施設の利用実態が少ないもの、又利用者が特定の人に限定されている（体育館等）建物については縮小してよいのでは。公共住宅は、民間の空家住宅の有効利用を図り将来は、なくす方向に。産業系施設は、民営化（NPO活用）の方向へ。小規模宅地造成で造られた児童公園が年数が経て今は、高齢者住宅地の中で使われていない所が多数ある。
123	近隣センターをよく利用している。身近で利用しやすい。

意見交換 テーマ2

意見交換1での内容や財政状況をふまえ、将来の公共施設等のあり方についてどのようにお考えですか。

1	施設の役割や効果をよく検証して柏市民のニーズに合った内容に重点をおき、場合によっては統合や廃止、あるいは必要によって新設を図ることも必要。地域特性に合わせた分析を進めるべき。
2	コスト低減については、“市”だけでなく、民の力を借りて新しいアイデアを組み入れてはどうかと思う。民間企業の知恵も仮など幅広い分野の方々との意見交流も必要と思います。
3	財政のスリム化が最優先だが、「費用対効果」により利用率にも不均衡が生じている。費用がかかっても実施しなければならない項目の市民へのアプローチが大切で必要な事柄ではないか。
4	民間に委託できる業務は、出来るだけ委託し、更には市の業務から切り離すことも考え、施設の削減、市職員の削減。
5	市営住宅を撤廃し、土地の売却して負債の減少に努めるべき。
6	近隣センターが狭いという意見を多く聞きますが、制限のある中で、有効活用していくことが大事だと思います。
7	物理的な係数で廃止を決めるのではなく、それを利用している市民の部分も大切にしてほしい。
8	利用者、特に若者層の意見聴取をしてほしい。
9	市の担当課の役割組織が利用そのものに影響していないか？
10	公共施設等のハード面やソフト面の充実を図る。
11	文化的事業においては、町会単位でのサークル活動の推進が最良ではと思います。高齢化とともに自宅から距離のある施設の利用は減るので、近隣センターなどは若い方に眼を向けた施設に統廃合ということも考えてはどうか。
12	受益者負担はある程度仕方がないが、将来的には若い年代の人達が、使い易い施設を目指すべきだと思います。
13	公共施設は維持し、福祉など他の行政サービスを抑える既存施設の長寿命化を図り、ぎりぎりまで建替えしない。
14	将来、住民に対して「良くやって頂いたため住み良い街である」と言われるような対策をとっていきべきです。
15	柏市に住んで良かった、柏市に住みたいなどの施設を作ってほしい。
16	施設の統廃合を進めること。
17	「サービスの質を低下しない」を前提としているようだが、「ある程度の質の低下」「負担増」はやむをえない旨を明確し、本音ベースで考えるべきである。
18	老朽化などハード面だけを考えるのではなく、地域の声などソフト面を合わせた検討が必要と考える。
19	劣化が進んでいる施設は計画的な工事を実施して頂くことを希望します。予防保全も大事かと存じます。
20	私達のところは人口や子供が増え、小学校等の統合は考えられない。
21	市民に公共的なサービスの提供との観点では、統廃合もやむをえない。
22	利用しやすくする。
23	柏市内だけでなく、広域的に他市との共同利用可能な施設形態に。

24	ひまわりプラザのグランドピアノが老朽化しているので、新しくするか、アミュゼ柏のピアノを貸し出したてもらってはどうか？
25	新規事業で施設を増やす場合は長期的に採算性を検証し実行する。
26	公共施設の運営を民間に移すなどし経費を減らす。
27	優先順位をつけ、また地区の利用者の意見等を聞いて、残す施設、廃止する施設、民間を活用するなど考える。
28	今後、高齢者が増加するのであれば、高齢者施設を増やすべきではないか。
29	地域の人達と連携を図ることにより、ソフト面も考えて、施設の活用を図る。
30	年々各都市にて人口減の方向にあり、市税支払いの多い（企業を除く）30代～50代のお子様、お孫様等の将来に希望を持てる施設の充実が重要ではないか。
31	公共施設の運営を民間に移すなどし経費を減らす。
32	利用者負担、有料化、財政の（維持・充実）計画により、大幅アップを。
33	保有施設の半数を占めている学校の多目的利用。
34	廃止や統合を進めた結果、不便になると住みにくい街と評価される。近隣とのバランスも必要と感じた。
35	受益者負担を増やすのではなく、市民が利用しやすいよう充実してほしい。
36	地域ごとにきめこまやかなまちづくりを。
37	元々少ない公共施設を削減までの見直しは問題だと思う。
38	他の無駄をやめ、市民サービスを維持してほしい。
39	保育園は公的サービスを維持し、財政面で議論するのではなく、中身、サービスを考えてほしい。
40	施設の有料化や使用料の値上げは反対。施設を利用している人達は高齢者が多く、有料化すると利用回数が少なくなるので、健康上良くないと思う。
41	利用度の低い施設は、民間委譲を含め整理統合を前向きに進めていくべきと考えます。
42	今後、必然的に支出増（介護等）が見込まれる為、施設の整理はやむをえないが、不便となる地域には代替交通手段を考える必要がある。限られた財源を見直しするとともに、住民サービスの低下を極力少なくすることが大事であると思います。総合的なバランスの中で、利用料を上げる等も必要。
43	住民同士が助け合い、自主活動することで、地域の安心・安全が向上すると思う。
44	必ずしも市で所有することにこだわらず民間資金を利用することを考えるべき。
45	町会単位での説明会を開いてほしい。
46	公共施設は地域のとりで。削減だけでなく、財源を確保しながらどう維持していくのかも知恵を絞ってほしい。
47	町会単位での説明会を開いてほしい。

48	学校の統廃合を考えるべきだと思う。
49	2階建でもエレベーターが必要な時代になるのでは。
50	最低限階段に手すりは必要。
51	必要などころには新しい公共施設を整備し、不要などころでは除却をしていくなど、地域特性に合わせた分析を進めるべき。
52	太陽光発電など、再生可能エネルギーを駆使してコストの縮減を図るべき。
53	地域力が高められるような計画を策定し、魅力ある公共施設を創出すべき。
54	若い世代の声を聴くため、イベントに合わせて説明会を実施してはどうか。その際は、一時的に保育をおこなってもらえる場が必要である。
55	使用料が低すぎてしまうと、民業を圧迫することにもなるので、他市の成功事例を参考にして、地元・民間にできることはまかせていくべきと考える。
56	市から地域への業務の依頼について、なんでもかんでもボランティアとするのではなく、委託契約をしてもよいのではないかと。
57	施設の統廃合を検討する時に、老朽化などハード面だけを考えるのではなく、地域の声などソフト面を合わせた検討が必要と考える。
58	経済的な指標だけでは市民の納得を得るのは厳しいと考える。
59	将来の公共施設についてきちんと早いタイミングで検討していくべき。
60	他の市と比較しながら説明してほしい。
61	市営住宅は、現代では民間施設があるので不要なのでは。
62	都市化は進んでいると考える。民間企業・国・県が所有している施設（体育館、文化施設、研修所など）の共同利用を進め、代替が可能であれば、その施設から削減を考えていくべき。
63	建替える時は、再生可能エネルギーを考慮して行うべき。
64	LED化、民間へのアウトソーシングなど、経費の削減を積極的に進めていくべき。施設の削減の話だけでなく、効率的な運営についても主眼をおいてほしい。
65	事後保全的な管理体制の見直しが必要である。
66	学校については、除却は考えず、空き教室を利用した公開講座などを行っていくべき。市民の教育増進が図られ、地域のコミュニティ拠点としても醸成することができる。
67	今後、高齢者が増加するのであれば、高齢者施設を増やすべきではないかと。
68	表現の仕方は工夫すべきであるが、サービスの低下や市民の負担が増える可能性があることなど、やむを得ないことや悪いことも市民に伝えていくべきと考える。
69	利用者、特に若者層の意見聴取をしてほしい。
70	徒歩圏に施設がないと使えない。
71	積極的に人件費の削減を検討すべき。
72	建物は、最低70年はもたせたほうがよい。

73	学校は残して、空きスペースの有効活用を図るべき。
74	将来を見据えて公園も統廃合し、管理についても、町会に業務委託すべき。小さい公園が多いよりも、1つの魅力ある大きな公園を整備してほしい。
75	今後、10年間は人口が増加するということであれば、地域によっては施設を増やさなければならないエリアもあるのではないかな。
76	近隣センターの施設の利用は3時間単位になってしまったことで、施設を利用できる団体が少なくなってしまった。
77	リフレッシュプラザは選挙等で使うことがあるので、近隣センターのような機能をいれてはどうか。
78	学校については、教育環境を視野にいれて検討していくべき。
79	保有施設の半数を占めている学校についての検討は実施すべき。
80	学校は自宅から近いことも大事だが、適切な規模も大切である。学校の一部を保育園等にする等有効に活用すると良い。
81	交通の便をよくすればよい。
82	自由学区制にしたり、学区の線引きを変えれば、学校の有効活用が図れるのでは。
83	将来に向けて、利用者の声を収集し、バリアフリー化の検討を図るべき。
84	狭い地域向けではなく、もっと広域を対象に新しい施設を整備すれば、もっと魅力ある都市になるのでは。多くの分館より、1つの魅力ある本館。
85	庁舎の空きスペースを民間のコールセンターにするなど、もっと収益増の方策を考えるべき。
86	所有にこだわらず、持ち方を変えていかないと、全ての施設を維持していくのは難しい。代替施設の確保であれば、土地も含め、賃借やリースで十分。今所有している施設を積極的に売却し、持ち方を変えてもよいのでは。
87	私立保育園のサービスを充実させ、市立保育園の維持管理費を抑えた方がよいのではないかな。
88	沼南地域は災害時の病院がないので、災害時の医療体制の充実を図って欲しい。
89	西原は小島状態である。近隣市を含めた広域利用を考えてはどうか？
90	全体的にバリアフリー化が急務。
91	人口が少ないからといって、公共施設を減らすことは避けてほしい。
92	廃止のことだけではなく、今後既存の施設を充実していくようなことを検討してもらいたい。
93	意思決定のプロセスや根拠、決定結果について、丁寧に市民に知らしめることが必要。
94	庁内で担当者が変わっても、引き継がれるようにきちんと記録をすること。
95	白書を販売してはどうか。
96	生産緑地は必要なのか。

97	耐震診断の考え方がおかしい。
98	PDCAを確認して、きちんと記録し、長いスパンの取組なので次の世代に引き継いでいくべき。
99	柏市の総意として広報していくべき。
100	意見交換の場は継続的に。
101	説明会の題目がかたい。市民が身構えてしまう。これからは若者の時代。女性向け、子供向け、子育て世代向けのテーマも考えては。
102	子どものために必要なための取り組みとわかれば、協力する人は多い。
103	市民文化施設、スポーツレクリエーション施設等、民間で提供できる又は、民間が既に提供しているものは民間に任せるべきと思う。
104	(例)のとおりで特に民営化や有料化(受益者負担)を図る。しかも料金も民間を圧迫しない程度まで値上げする。財政的にはその時代その時代で必要性が高いものに予算を計上することも必要。(人口増時代は、学校の建設に予算を多くした時もあったと思う。又、公共下水道や道路建設にも多くの予算を使った時代もあったと思います。)
105	公共施設の運営はできるだけ民間に移し経費を減らす。